

メディア登場のご紹介

スパイラルアップ代表 原 邦雄について
2016年3月28日発行日刊ケイザイに掲載されました！

日刊ケイザイ

平成28年(2016)3月28日 月曜日 第1856号 昭和41年8月27日
第三種郵便物認可 (第1、第3、第4月曜日発行) 購読料 1ヵ月3,000円(郵送料込)

オンリーワン に生きる

〈70〉

株式会社スパイラルアップ(大阪市中央区)で、世界の人材育成ノウハウは、原邦雄氏が大阪工業大学卒業後、船井総合研究所のコンサルタントからラーメン屋に転職、ソードとして原社長は英語が話せないのに、アメリカのスターバックスに確立、2011(平成23)年に設立した。原社長は、「ほめ育」マネジメントの第一人者として、日本郵政や大手生命保険会社など、150社の企業を導入した。業績を次々に向上させる

ボストンやハーバード大の「ほめ育」マネジメントを、7月にカンボジア、インドネシア、フィリピン、そして10月にインドネシアのセミナーにインストラクターとして参加した。原社長は、その人しか持っていない良いところを本気でほめることです。社交辞令やうわべだけの「ほめ育」は、人から伸びません。尊敬に値する人格者なことを目指す。誰かから企業に受託できる講座から企業業績アップのための研修まで、爆発的に広がりをみせ、これまでに5万人が受けた。

また、原社長は、一般財団法人ほめ育財団(東)を設立し、環境がともなうように思

原社長

「ほめ育」マネジメントの第一人者 国内だけでなく世界各国でも講演



原邦雄・スパイラルアップ社長

株式会社スパイラルアップ

「ほめ育」ノウハウを確立

講した。ハーバード大学やリッツカールトンホテルでのセミナーをはじめ、年間200回以上の講演を行っている。3月中旬、講演のためロサンゼルスから帰国したばかりで、4月には上海で飲食店経営者6千人へのセミナーをはじめ、原社長自身の著書も多数発行し、最近では「今新人社員から学ぼうとすべくできる1かすく変わる姿勢、つまり誰からでも学ぼうというところが、大いに豊かな人になったと切です。『言つて聞け』という言葉は、みんなから学ぼうとていつか時代は終わる。原社長は今後の抱負に、業績が向上せず、生活も心ついて、「保育園や幼稚園の子どものために、人が誰でも良いところがある。それを引き出さなければ、それは、考える教育をしていくからです。日本では、暗記教育で、今日まで来た。もう今は通用しません。だから、人をほめて育てて、人と企業を輝かせる「ほめ育」が、とても大切です。私は日本発の「HOMEIKU」を世界共通言語にしようという真意を持っています。」

人をほめて育てて、人と企業を輝かせる 「HOMEIKU」を日本発の世界共通語へ



大成功を終えた中国講演で笑顔満開の関係者らと原社長(右から6人目)

も学ぼうというところが、大いに豊かな人になったと切です。『言つて聞け』という言葉は、みんなから学ぼうとていつか時代は終わる。原社長は今後の抱負に、業績が向上せず、生活も心ついて、「保育園や幼稚園の子どものために、人が誰でも良いところがある。それを引き出さなければ、それは、考える教育をしていくからです。日本では、暗記教育で、今日まで来た。もう今は通用しません。だから、人をほめて育てて、人と企業を輝かせる「ほめ育」が、とても大切です。私は日本発の「HOMEIKU」を世界共通言語にしようという真意を持っています。」

の一番良いところをあなた自身はどう思うかという問いに対し、「たくさんありますけど、ここが私の一番良いところですよ、ねえみんな」と小学生で即座に答えることができるという。ところが、日本人に聞くとき、本当は良いところが必ずあるにもかかわらず、「いや、あ、そんないいところはないです、勘弁して下さい」と、謙虚と遠慮をはき違えてしまっている。何のために生まれてきて、どのような役割でこの世に何を残すのかを考えたことがある人か。と原社長は言う。

「人生の目的は何ですか」と問いただされるとアメリカ人はすぐ答えられる。それは、「考える教育をしていくからです。日本では、暗記教育で、今日まで来た。もう今は通用しません。だから、人をほめて育てて、人と企業を輝かせる「ほめ育」が、とても大切です。私は日本発の「HOMEIKU」を世界共通言語にしようという真意を持っています。」

【本社所在地】大阪市中央区島之内1-13-28
【URL】<http://www.spiral-up.jp/>